

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第28週の発生動向

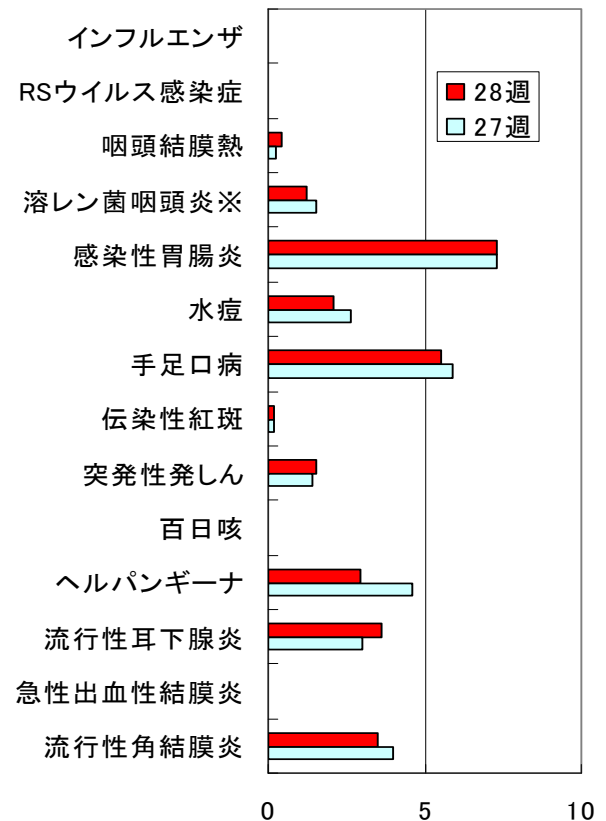
定点医療機関からの報告総数は920人(定点あたり28.5)で、前週比92%と減少した。

前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はヘルパンギーナと水痘であった。

流行性耳下腺炎の報告数は131人(3.6)で前週比120%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.8)と比較すると約2倍である。日向(16.8)、延岡(10.3)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では3歳から6歳で全体の約6割を占めた。

手足口病の報告数は199人(5.5)で前週比94%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値(3.2)と比較すると約1.7倍である。日南(11.7)、日向(11.3)、都城(7.2)、宮崎市(5.2)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では1歳から3歳で全体の約7割を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年 齢 分 布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
手足口病	5	5.5	日南(11.7)、日向(11.3)、 都城(7.2)、宮崎市(5.2)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	2.9	日南(6.0)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	3.6	日向(16.8)、延岡(10.3)	3歳~6歳で全体の約6割を占めた。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 3 例が宮崎市・小林・高鍋（各 1 例）保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・60 歳代の女性で肺結核。咳、痰がみられた。
 《小林保健所》・60 歳代の男性で肺結核。CRP 上昇がみられた。
 《高鍋保健所》・70 歳代の女性で右頸部リンパ節結核。右頸部リンパ節腫脹がみられた。
- 3 類感染症： 腸管出血性大腸菌感染症 3 例が宮崎市・都城・高鍋（各 1 例）保健所から報告された。
 《宮崎市保健所》・10 歳代の女子で腹痛、軟便がみられた。原因菌の O 血清型は不明（VT1 産生）。
 《都城保健所》・70 歳代の男性で無症状病原体保有者。原因菌の O 血清型は不明（VT1 産生）。
 《高鍋保健所》・30 歳代の男性で無症状病原体保有者。原因菌の血清型は O157（VT2 産生）。
- 4 類感染症： 報告なし。
- 5 類感染症： 報告なし。

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

細菌（第 27～第 28 週：平成 22 年 7 月 5 日～7 月 18 日までに分離同定）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床診断名等	分離材料	分離同定日
腸管出血性大腸菌(O26:HNM VT1)	0～4	男	6.29	下痢	便	7.12
<i>Salmonella</i> Infantis (O7:r:1,5)	90代後半	女	7.10		便	7.9
腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1)	10代前半	女	6.18	無症状(感染者の家族)	便	7.6
腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1)	0～4	女	7.7	無症状(患者の家族)	便	7.8
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	0～4	男	7.5		便	7.9
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	5～9	男	7.5		便	7.14
腸管出血性大腸菌(O26:H11 VT1)	0～4	女	6.18	下痢、血便	便	7.12

ウイルス（平成 22 年 7 月 5 日～7 月 20 日までに分離同定）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	同定日
エコーウイルス3型	20日	女	6.16	髄膜炎、39.0℃	髄液	7.20
エコーウイルス25型	5	男	7.1	急性咽頭炎・無菌性髄膜炎の疑い、38.7℃	咽頭ぬぐい液	7.20
エコーウイルス3型	10M	女	7.2	エンテロ疑い、40.0℃、発疹(紅斑)	咽頭ぬぐい液	7.16

○急性咽頭炎・無菌性髄膜炎の疑いの小児からエコーウイルス25型が検出された。

○髄膜炎とエンテロ疑いの乳幼児からエコーウイルス3型が検出された。2005年の発疹性疾患で検出されて以来、5年ぶりの検出となった。全国では2008年から毎年検出されている。

■ 全国第 27 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 20.7 で、前週比 110%と増加した。今週増加した主な疾患はヘルパンギーナと手足口病で、減少した主な疾患は水痘であった。

ヘルパンギーナの報告数は 17,694 人 (5.8) で、前週比 140%と増加した。埼玉県 (10.5)、宮城県 (9.6)、神奈川県 (9.4) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

手足口病の報告数は 11,727 人 (3.9) で、前週比 124%と増加した。高知県 (12.6)、大分県 (12.1)、山口県 (10.1) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 308 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 5 例、腸管出血性大腸菌感染症 144 例
- 4 類感染症 : A型肝炎 5 例、オウム病 1 例、つつが虫病 3 例、デング熱 1 例、マラリア 1 例、ライム病 1 例、レジオネラ症 21 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 12 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 1 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、後天性免疫不全症候群 19 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 6 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 例、風しん 2 例、麻しん 16 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第28週(07月12日～07月18日)

疾病名		第27週	第28週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	3	3		1	2						
	定点あたり	0.08	0.08	0.00	0.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	16	3	5	1	6		1			
	定点あたり	0.25	0.44	0.30	0.83	0.25	2.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	56	44	10		16	1	2	9		5	1
	定点あたり	1.56	1.22	1.00	0.00	4.00	0.33	0.67	2.25	0.00	1.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	263	263	55	66	9	31	38	26	7	28	3
	定点あたり	7.31	7.31	5.50	11.00	2.25	10.33	12.67	6.50	7.00	7.00	3.00
水痘	報告数	95	75	21	19	8	2	2	11	1	6	5
	定点あたり	2.64	2.08	2.10	3.17	2.00	0.67	0.67	2.75	1.00	1.50	5.00
手足口病	報告数	211	199	52	43	11	35	2	9	1	45	1
	定点あたり	5.86	5.53	5.20	7.17	2.75	11.67	0.67	2.25	1.00	11.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	7	6	1	5							
	定点あたり	0.19	0.17	0.10	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	50	56	17	11	8	6	3	5	1	5	
	定点あたり	1.39	1.56	1.70	1.83	2.00	2.00	1.00	1.25	1.00	1.25	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	165	106	29	11	18	18	5	7		18	
	定点あたり	4.58	2.94	2.90	1.83	4.50	6.00	1.67	1.75	0.00	4.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	109	131	11	5	41		2	5		67	
	定点あたり	3.03	3.64	1.10	0.83	10.25	0.00	0.67	1.25	0.00	16.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	24	21	17	4							
	定点あたり	4.00	3.50	5.67	2.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第28週)

2類感染症	結核	106例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	24例(3)				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病	1例
	マラリア	2例	レジオネラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	7例	急性脳炎	6例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒	4例
	破傷風	3例	麻しん	1例		

()内は今週届出分、再掲

こども感染症情報

おたふくかぜが増えています。(7月12日～7月18日)

おたふくかぜの報告が増えています。過去5年間で最も多い報告数となっています。日向市、延岡市周辺からの報告が多く、警報レベルを超えています。年齢別では3歳から6歳のこども達が多く感染しています。

おたふくかぜは、ムンプスウイルスがのどや鼻から入って起こります。潜伏期は2～3週間で、幼稚園児や小学生がかかりやすい病気です。おたふくかぜにかかると、軽い熱がでて耳の下（耳下腺）やあごの下が腫れて、少し痛みます。すっぱいものや果汁は、耳下腺の痛みを強くするので避けましょう。熱は、耳下腺が腫れる前からでて、腫れがピークになるころまで続きます。高熱や頭痛、嘔吐などの症状があるときは重い合併症も考えられますので、すぐに診察をしてもらいましょう。人にうつりやすい時期は、腫れが出る2～3日前から発症後1週間ほどです。その間は、外出を控えましょう。

予防接種は1歳から受けることができますが、任意ですので費用がかかります。症状の出る前から人にうつることもあるので、接種時期などはかかりつけの医療機関にご相談ください。